



6/2 (日) 水防機関の体制強化を図る
北秋田市「水防訓練」

水防訓練が米代川右岸鷹巣橋下流河川敷で行われ、水防団(消防団)などが水防技術の向上と有事に備えた対応を確認しました。団員らはシート張り工、積み土のう工、改良積み土のう工、簡易水防工法の4工に取り組みました。



機敏な動きで水防4工法を確認する水防団

5/31 (金) 観光シーズンのスタート
太平湖の湖水開き

奥森吉にある太平湖の湖水開きが行われ、太平湖と小又峡を結ぶ今シーズン第1便となる遊覧船の運航がスタートしました。遊覧船「森吉丸」の1日船長にはタレントのシャバダバオ 駄馬男さんが任命され、テープカットを行いました。



遊覧船の発着所となる北清水棧橋での発航式・テープカット

5/24 (金) 大規模地震を想定した訓練
「県民防災の日」想定訓練(鷹巣小学校)

5月26日の「県民防災の日」を前に、鷹巣小学校を会場に大規模地震を想定した防災訓練が行われました。児童たちは本番さながらの訓練に緊張しながらも真剣に取り組み、有事の際の初動対応などを確認しました。



校舎からグラウンドへ避難訓練を行う児童たち

5/22 (水) 田んぼのキャンパスに挑戦
秋田内陸線沿線地域「田んぼアート」田植え

「田んぼアート」の田植えが「縄文小ヶ田駅」前の田んぼで行われ、地元児童のほか地域住民なども参加し作業に汗を流しました。今年度のデザインは、応募の中から選ばれた「お出迎えするないっくんといせどうくん」です。



内陸線の車両に手を振る参加者たち

6/6 (木) 郷土愛や命の大切さなどを学ぶ
合川 de 稚鮎放流体験(あいかわ保育園)

稚鮎放流体験が阿仁川と小阿仁川の合流地点となる羽根山側河川敷で行われ、あいかわ保育園(石崎賢一園長)の年中園児が稚鮎を放流しました。「元気に大きくなってね」と約2,000匹を放流し、稚鮎の元気に泳ぐ姿を見送りました。



元気に大きくなって戻ってきてねと放流する園児たち

6/2 (日) 市街地のにぎわい創出へ
第40回 ふるさと踊りと餅っこまつり

ふるさと踊りと餅っこまつりが市民ふれあいプラザ周辺で行われ、ミス餅っこ認定授与式、鷹巣小学校金管バンド部演奏や鷹巣中学校よさこいのほか、多くのキッチンカーが出店し、多彩な催しに多くの人々が訪れ街がにぎわいました。



「ミス餅っこ」の認定授与式も行われる

5/28 (火) 地元就職者の人材確保へ
早期求人提出要請書を提出

新規高卒向けの早期求人提出・採用拡大要請が商工会で行われ、津谷市長、岡部北秋田地域振興局長、深井県高等学校長協会東北支部長、簾内大館公共職業安定所鷹巣出張所長の4人が小笠原商工会副会長(会長代理)へ要請しました。



左から岡部局長、津谷市長、小笠原副会長、深井支部長、簾内所長

5/24 (金) 自衛官を志す人の相談役
「自衛官募集相談員」委嘱状交付式

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が市役所で行われ、金勇一さん、佐藤紀子さん、小林 淳さん、辻一明さんの4人(※小林さんと辻さんは欠席)が委嘱されました。相談員の任期は令和6年から8年までの2年間となります。



前列中央の金さん(中央左)と佐藤さん(中央右)

6/8 (土) 秋田杉から生み出される個性豊かな芸術作品
第17回 東北チェーンソーアート競技大会

東北チェーンソーアート競技大会が県立北欧の杜公園で開催され、市内外から出場した13人の競技者は大小のチェーンソーを使い、秋田杉の丸太からダイナミックでありながらも繊細な技術で個性豊かな芸術作品を削り出していました。



丸太を豪快かつ繊細に削るチェーンソーカーパー(競技者)

6/7 (金) 花を植えて育てる人権の意識を高める
「人権の花」運動(義務教育学校 阿仁学園)

「人権の花」運動の植栽が市内5校で行われ、花を育てる活動を通して命の大切さや相手への思いやりといった人権尊重の心が育まれることを求め、プランターにベゴニアなどの花が心を込めて丁寧に植えられました。



阿仁学園では前期課程と後期課程の児童生徒と一緒に植栽

5/29 (水) 七尾市の災害応援に
能登半島地震災害の応援派遣職員激励会

能登半島地震の災害対応にあたるため、石川県七尾市へ派遣される市職員の石川哲主査と高橋幸希主任の激励会が市役所で行われました。2人は6月3日から9日までの間、家屋被害認定調査等の支援にあたりました。



被災地での災害対応にあたる石川主査(中央)と高橋主任(右)

5/28 (火) 将来の地域防災に向けて
「高校生消防クラブ」結団式(秋田北鷹高校)

秋田北鷹高校の高校生消防クラブ結団式が同校で行われ、隊員15人に任命証が交付されました。隊員たちは年間活動を通して防災意識の高揚と知識・技術を習得し、将来の地域防災のリーダーを担う人材育成として期待されます。



今年度の「消防クラブ」には15人が志願(※うち8人が新規加入)